

平成 30 年 4 月実施—議会報告会・意見交換会まとめ

場 所：三 保 地 区（平成 3 0 年 4 月 9 日）

総務環境常任 委員会関係	参 加 者 意 見	当 日 の 答 弁	調 査 結 果
道路 箒沢道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川～箒沢間の 4 か所の拡幅計画が頓挫したので、要望してほしい。 ・ 県道 7 6 号線の箒沢までの拡幅工事は H29 年度から開始予定だったが、どうなっているのか ・ 県道箒沢トンネル付近の待避所は、県が行うと約束してからかなり経つ。議会でも確認してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県に対して早きやるべきと言ってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川地区玄倉寺先の県道 1 か所の待避場の拡幅を、県は H30 年度予算に計上した。
秦野峠林道	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ問題があるのは聞いているが、イベント時の迂回路として必要。地域への説明会を開くべき。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 秦野峠林道の利用は、議会でも地域の声を大事に議論し、対応していく。観光対策、災害時の迂回路として、協議中である。
山北・藤野線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道志村へ抜けるルートは、3～4 km トンネルを布設すれば、環境保護団体の制約も少なく可能だと思う。また、富士山の噴火時や防災に役立つ。スマート IC の連携も考えて、議会でも要望してほしい。 ・ 小田原甲府線の道志村に抜ける道は町の基本構想に乗せるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道志村議員と議員間連携を進めている。今後、町村・県・国へ要望出来るように進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道志村へ抜けるルートは、昨年から道志村双方の議会で意見交換を行ってきた。
スマート IC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の状態で出来ても意味がない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急車両の時間短縮や、災害時の緊

<p>地域交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスを三保地域に走らせることは出来ないのか。 ・バスと御殿場線との接続を良くしてほしい。 ・スクールバスは町長が変われば終了する不安がある。文書での確約が欲しい。 ・循環バスやスクールバスを三保への交通手段として利用できないか。 ・公共交通が十分でなく、町内外の医療施設に通院するのに、費用が掛かり過ぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスを民間の認可路線に走らせることは出来ない。 ・民間路線バスの増発は難しい。 <p> </p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管の委員会では、町内のバス・スクールバス・福祉タクシー等の様々な交通体系の議論をしている。 	<p>急車両の通行に有効である。また、回遊性が生まれ、観光や、工業団地の車両が利用することで、可能性が広がる。</p>
<p>移動販売車</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物難民のために、採算性が合わなくても、検討すべきである。利用できる国の助成制度はないのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自宅近くで、食料品などの購入が難しい買い物弱者支援策について、調査・研究を行っている。
<p>地域コミュニティー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の連絡網を考えたい。 ・交通等の不便から、人口が減少し、若者や高齢者が住みにくい。 ・玄倉地区は、現在37世帯、10年後には20世帯になってしまう。子供たちは家を出て帰ってこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考までに、清水地区では地域の連絡は、FAXで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共和地区でも地域の連絡は、FAXで行っている。

<p>観光 ユーシン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーシンへの観光客が町で用意した駐車場に止めきれず、私有地や道路に駐車している。 ・ユーシンプールをどのように活用して役立てていくか、総体的な計画がない状態で、進めている点が問題。 ・駐車場からユーシンまでトイレがない。 ・ユーシンの観光対策は地域を越え、三保地域全体の声をしっかりと把握し、ユーシンの観光振興に繋げるべき。 ・ハイカーのマナーの悪さが、多くの問題を引き起こしている。町はハイカーに環境保護のアピールをしていくべき。 ・直火でのたき火を河原でする者がいる。山火事に繋がる恐れのある状況にも出くわした。町で注意喚起をして欲しい。 		
<p>公共施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・玄倉公共施設の活用をしたらどうか。 ・駅伝で多数の学生が来る。ビジターセンターを宿泊施設に活用したらどうか。 ・きのこ園、薬草園、テニスコートを壊したらどうか。 ・ビジターセンターや森林館は、ガイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の再活用を調査研究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県・町の担当課へ伝える。

<p>県の対応</p>	<p>ドや地域の避難場所として必要な施設だが、しっかりと県が費用を投じ、町が無償で譲り受ける形でないとなん得できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイツ跡地に社宅や寮を整備して、企業誘致をしたらどうか。 ・5年後の新東名工事関係者が撤退した後の構想を知りたい。 <p>・イベント時の食べ物の衛生規制がうるさい。</p> <p>・県はダム建設で残された住民が不便の無いように、施設整備を行った。しかし、財政の悪化を理由に、その全てを撤退や譲渡している。県との約束はどうなっているのか。</p> <p>・県の施設がなくなると、働く場所がなく、更に過疎化が進んでしまう。</p> <p>・水没者施設である丹沢荘の閉館は、決定してから地域に発表された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県の対応は厳しすぎる。 ・三保ダムが県の水がめであることが忘れられてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県が浄化槽や空調設備、エレベーターなどのメンテナンスをし、今後の維持管理費の一部も負担してから町へ無償譲渡している。町は、地域振興に資するよう、民間事業者も視野に入れた利活用を検討している。 ・三保ダム建設時の昭和52年7月に神奈川県、山北町、地域住民の合意の下で、山北町三保地域振興整備計画が策定された。計画の内容を確認し、推進する。
<p>砂利関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計に入っている砂利採取税は本来は地域に入るはずだった。 ・当時の町長は砂利採取税を地域振興に使うと約束した。今では議事録も残ってないと言うがどうなっているのか。 ・丹沢湖の砂利採取をもっと行い、売り上げ金を地元に戻元ができない 		

入湯税	<p>か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入湯税も砂利同様に三保地域の振興に使うべきである。 		<ul style="list-style-type: none"> ・使用目的に沿って、地元振興に使われている。
鳥獣害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度に他の地域で捕獲した熊を玄倉の山に放している。本当に安全なのか。 ・GPSを付けたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県では熊は絶滅危惧種に指定されているため、殺処分できない。人間は怖いことを植え付けGPSをつけてから放している。 ・危害を加えるような個体は射殺できるはず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・
ジビエ	<ul style="list-style-type: none"> ・ジビエカーはなぜ頓挫したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者が撤退したため。 ・車があれば車の到着を待って刺し止めができ、2時間ルールがクリアーできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総務環境常任委員会で検討している。
マダニ・ヤマビル	<ul style="list-style-type: none"> ・玄倉地区のヤマビルは減少したが、中川地区ではマダニの被害が発生している。観光客に注意喚起するべきでは。 		
山林業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・世代が代わり、今では、山林の所有者が把握できない状況。共和地区のように三保地域でも山林の手入れを行うべきでは。 ・県有林や、学校林の整備が進められてない。結果、下草が生えず、鳥獣被害や、土砂災害等の心配がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水源環境税を活用して、整備するよう伝える。

	そこで、材木を切りだし、薪、炭などお金となる仕組みを作ることが重要である。		
--	---------------------------------------	--	--

福祉教育常任委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
山北子ども園	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども園は保育園か幼稚園か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両方の機能を持つ幼児施設である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の声として担当課に伝える。
社会教育 教育・学校再統合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山北こども園では町の特徴を活かした保育、教育をしてほしい。そうすれば他から山北で子育てをしたいママさんが来て人口が増えると思う。 ・ 生涯学習センターの利用予約は3ヶ月前からしかできない。集約するには時間が必要なので、6ヶ月前から予約できるようにしてほしい。 ・ 学校統合をしてほしい。現在三保地区からこども園に3人通園している。また、川村小への通学を希望して、寄留を考えている家族もいる。 ・ 3年しかたっていないのに統合というのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で考えをまとめることが大事だが、あくまでも子供の事を第1に考え対応すべきではないか。 ・ 教育委員会と地域、保護者等で話し合うことが必要ではないか。 	

議員報酬	<p>いう堅苦しい場だと若者は参加しにくい。場所等も含めて考えるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬は少ない。若手になれと言っても無理である 		
その他	参加者意見	当日の答弁	調査結果
車座集会	<ul style="list-style-type: none"> ・ざっくばらんに話がでることが良い。 ・手を挙げて全体に話すのは気が引ける。 ・町に意見を言う場がないので、考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町への意見は町民ポスト、議会への意見は目安箱を活用して欲しい。 	
自治会助成	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減、財政減、自治会世帯減で助成金も少なくなっている。 		